

なぜ「バーフ」ではだめなのか？

生食を肉食のペットに与えるという概念にまだ慣れていない人は、原型となる骨付き生肉食と、バーフ食の違いに気づいていないかもしれません。

まずは、歴史を少々。長年の欺瞞の末に、ようやくペットと飼い主にとってかすかな希望の光が見え初めていました。1980代の終わり、シドニーの数名の獣医達は、ある明白な事実に偶然突き当たりました。それは、肉食動物（犬、猫、フェレット）には、彼らの野生の兄弟の食生活に近い食べ物、即ち、丸ごとのカーカスや骨付き生肉が必要だということでした。後に、Raw Meaty Bones Lobby ロー・ミーティ・ボーンズ・ロビー（骨付き生肉を推奨するロビー活動）として知られるようになった我々は、自然食が肉食動物に最適な栄養素を供給するだけでなく、歯科的、精神的、肉体的な健康に不可欠な、硬く噛みごたえのある食感も兼ね備えていることを主張しました。

我々は、自分達が診ていたペット達を治療する傍ら、ペットとペットオーナーのためのロビー活動を行い、ペットフード産業／獣医業界に反対するロビー活動を行いました。我々は、安く入手可能な骨付き生肉の仕入先を見つけ、餌動物の内臓の内容物に近い栄養価がある上、無料であることから、食卓の残り物も与えるよう推奨しました。我々は主に、研究を行いながら、出版物、ラジオ、テレビを通して獣医学組織とジャンクペットフード産業に反対するキャンペーンを行いました。1990年代初頭、その活動はオーストラリアで成果を上げ始めていました。

イアン・ビリングハースト博士は、犬が雑食動物であるという誤った考えを持っていたにも関わらず、骨付き生肉ロビー活動の成功に気づき、グループへの参加を申請してきました。ビリングハースト博士は、しばらくの間は、我々の運動の取組に参加調印しており、骨付き生肉の理念を支持しているかのような印象を与えていました。実際に彼は1993年に出版した自身の最初の本に、骨付き生肉に関する情報を沢山使用しました。そして、我々とペットフード企業との闘いが最も激しかった1997年に突如ビリングハースト博士は骨付き生肉ロビーに辞表を提出しました。

「世界的に私への信頼性は高まっている．．．私は、聞く耳を持つ人達に知識を与えるためにここにいる。それはペットオーナーや獣医に限ったことではなく、興味があるなら、ペットフード会社も含まれる。私にとって、この政治的なディベートに参加することは不必要であり、実は非生産的なのだ。」

「私が役に立つためには、政治的な舞台の外に身を置く必要があり、それには強い意見と適切なエビデンスに裏付けされる明白な信念を持ちながら、同業者からも尊敬される人物でなければならない。私の目標は、このディベートにポジティブな変化をもたらすことと、生計を維持していくことだ。」

不幸なことに、ビリングハースト博士は、自身の「信頼性」を利用し、アメリカとイギリスの多くのペットと飼い主に、犬は雑食動物であると信じ込ませたのです！彼は、犬は骨付き生肉の他に、大量の野菜、果物、乳製品、高価なサプリメント、そして穀

類を与えなければいけないとペットオーナーに言い聞かせながら「生計を維持」していきました。ビリングハースト博士に追随する人達は、宗教的ともいえる忠義心を持つまでになり、自らをBorn Again Raw Feeders(生食を与える再来者)と呼び始めました。その頭文字を省略すると「BARF(バーフ)」となり、それは口語で嘔吐「ゲロ」という意味で、現在は、ミンチされた調合食の呼び名として広く使われています。

しかし、一時的に流行する多くの食事法と同様に弱い立場の支持者達は、騙されていたのです。ビリングハースト博士は、次のように語った記録があります。

「果物と野菜は、犬の食生活に不可欠な部分である。不可欠な部分であり、オプションな部分ではない。肉はオプションだが、果物と野菜はそうではない。」(犬の栄養 ― ある視点 1988年)

ビリングハースト博士は、自身のバーフ本の中で、骨付き生肉のベネフィットを述べていますが、一旦納得させた後、読者には、自身のバーフ食に含まれるすり潰された骨への切り替えを受け入れるように推奨しています。

「貴方のペットには、事前に骨が全て(肉と一緒に)すり潰された一種のバーフ食を与えることを検討するよう強くお進めする。すり潰すことで、歯磨き効果や精神的肉体的ベネフィットを含むバーフ食のいくつかのベネフィットは失われるが、栄養的なベネフィットはまだ残っている。すり潰すための電動式のグラインダーを購入することもできるが、中華包丁やハンマーを使ったもっと原始的なやり方で、骨を叩き砕くこともできる。それよりもっと簡単な方法は、入手可能な地域なら「ビリングハースト博士が考案した肉と骨のミンチ」を購入することだ。色々な種類のバーフミンチを与えることこそ、骨付き生肉をミンチ状にして与えるバーフ食なのだ。」(バーフ・ダイエット2001年)

最近では世界中で多くのペットフード業者が骨付き生肉の重要性を無視して、バーフブームにあやかって利益を上げています。弱い立場のペットオーナー達は、丸ごとの骨付き生肉の値段の4倍もする肉と野菜のミンチ調合食を買うように誘導されているのです。ビリングハースト博士は、彼のバーフ食が、どういうわけか「口臭を除去」する上に「健康な歯」にしてくれるとさえ主張しているのです！

健康的な骨付き生肉がそのほんのわずかな値段で手に入るのに、なぜ貴方の犬／猫／フェレットに必要なものを供給しない商品に法外な値段を払うのでしょうか？バーフの詐欺を拒絶し、ペットと人と環境の改善のために原型の骨付き生肉の価値を再主張する時です。骨付き生肉食とキャンペーンに関する情報は、www.rawmeatybones.com に掲載の記事、ビデオ、皆様からの声をご覧ください。

この記事は、個人使用に限りコピーし配布することができます。

ご多幸を祈りつつ。

トム・ロンズデール 2007年10月

バーフ食についての解説は、こちらのニュースレターをご覧ください。

RMB Newsletter Vol 9:3 Barfer Billinghamurst

RMB Newsletter Vol 7:2 Raw Meaty Bones Diet & Campaign

RMB Newsletter Vol 6:5 Three Part Test

RMB Newsletter Vol 6:4 Spin doctors

RMB Newsletter Vol 6:2 Barfmania: The junk raw pet-food scam

RMB Newsletter Vol 2:3 The good, the bad and the misguided November 2002